

まるこやま

第57号

令和元年9月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL (0854) 43-2130
E-mail: daito-c@hotmail.com

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

9月7日(土) 大東中学校 体育祭



青春まっ只中!



「いなむらホタル会」 知事表彰 おめでとうございます



毎年、河川・道路愛護月間にあわせ、愛護活動の功績が特に顕著な県内団体、個人に対し県知事表彰が行われます。今年は大東町の「いなむらホタル会（会長 江角茂美）」をはじめとして河川部門4団体、道路部門6団体の活動が評価され、8月26日に知事室で表彰式がありました。「いなむらホタル会」は赤川改修工事が完了した平成12年11月からラブリバー公園として整備された七夕公園を大東町、島根県と役割を分担、連携しながら河川の良好な環境維持とうるおいのある水辺づくりに取り組んでこられました。具体的には会の発足以来18年

間、10名の会員が5班に分かれ一週間ずつ毎朝公園内の公衆便所、東屋、ベンチを清掃点検したり、全員で樹木植込み場の除草、剪定を年4回実施しておられます。

七夕公園はホタルの鑑賞や小学児童の学びの場、大東七夕祭子ども行列の集合場所など、多くの方に親しまれている公園です。これからも「いなむらホタル会」をはじめ、いろいろな皆様の献身的な愛護活動により維持管理されている七夕公園を大切にしていきたいと思います。

（記：事務局長 安部）



豊かな森林とともに

大原森林組合 山本 一成



この7月から大原森林組合において現場技術員「ザ・モリト」として働いています。

私は平地が広がり裾野がなだらかで小さな山が点在する所で育ち、今年この大東町に引っ越しをしてきました。ここは生活のすぐそばに山があり、その森林の大きさや存在感に興味がありました。地域に貢献でき、その森林に詳しくなろうと思いこの職に挑戦しています。

ここで大原森林組合の主な仕事の内容を紹介します。

- 山の管理…造林地の手入れ、元気な森づくり（地拵え・新植・下刈・雪起し・枝打ち・保育間伐・除伐などの森林整備事業）
- 木材生産…森林から木材として搬出（作業道の開設・利用間伐・主伐・造材搬出・運搬などの林産事業）
- お困りごと相談…家の周りの木の伐採・田畑周辺の草刈りなどの受託施業
- その他の仕事…桜の管理（斐伊川桜堤防）・配電線下伐採・林業資器材・山行苗・桜麵などの販売斡旋

私自身は職についてからまだ2ヶ月程度なのでほんの一部しか携っていませんが、諸先輩方に丁寧な指導を受けながら、しっかりと育て山を守って

くれそうな木を選んだり、若い苗木が他の草木との競争に負けないように助けたりと豊かな森林づくりに参加しています。

草刈りや山歩きなど慣れないことは多いですが、斜面を登っている最中にスポーツライミングが思い浮かんだり、倒木や枝をくぐりながら進んでいくとフィールドアスレチックコースまでも頭をよぎったりします。ときには野うさぎに導かれ、クワガタが上からぼたっと挨拶にきて驚かされることもあります。さらには蜂や猪などとの縄張り争いもありますが、日々、木をはじめ植物や動物などもっと詳しくなりたいと興味が深まります。こんな私ですが多くの職員の方から優しく声をかけていただいたり、施主の方から感謝されたりして暑い夏を乗り越えてきました。一日でも早く技術を磨きより貢献できるようにと考えています。

詳しくは大原森林組合の事務所をお訪ねください。私以外のプロフェッショナルな職員がお困りごとのご相談に対応いたします。

～全国大会のご報告～

熱く燃えた夏を終えて

大東中学校野球部コーチ 若槻 宏二

平素より地域の皆様には、大東中野球部の活動に対し熱い応援、温かいご支援を賜り感謝申し上げます。7月の県大会、8月の中国大会を勝ち抜き、現チーム結成当初から目標としていた全国大会の権利を得ました。中でも中国大会での戦いぶりは、投攻守とも好調で中国初制覇を成し遂げる事が出来ました。しかしながら、ここまでの道のりは決して順調なものとは言えず、春の全国大会（於・静岡）後も、怪我で戦列を離れる生徒がいたり、チームとしても大事な試合で敗れたりするなど苦しい時期もありました。その間、ミーティングを重ね、厳しい姿勢で子どもたちと向き合ったこともありました。私自身も過去2回の全中出場後、好投手を擁し県制覇



した年にも僅かに全国へ届かず、弱気になりそうな時期もありました。しかし彼らの部活動への取り組み方、掲げた目標へ向けひたむきに努力を続ける姿は素晴らしく、彼らを信じ頑張れば道はひらけるのではと思えるようになりました。

滋賀・皇子山球場という素晴らしい舞台での堂々の入場行進、初戦の2回戦で相手を圧倒しての勝利と校歌の斉唱、そして準々決勝での優勝した福岡・浅川中との激闘。僅か1点及ばず、過去最高成績の3位に並ぶ事は叶いませんでしたが、この試合でも随所に好プレーが見られ日頃の厳しい練習で会得した「心・技・体」を発揮してくれました。このような素晴らしい経験ができたのも過去の先輩たちが培ってきた伝統や流した多くの汗と涙があっての事で、3年生はこれからも変わらず、自らを律し自己犠牲の心を忘れず頑張ってください。

最後に地域の皆様には重ねてのお願いとなりますが、大東中野球部を引き続き、温かく見守って頂きます様お願いいたします。「我ら心ひとつに」

カメラ 今月のパチリ



今年の秋に雲南市内で実証実験が予定されているゴルフカートを改装した電動低速車の試乗会が8月29日に大東地域交流センター周辺で行われました。今後の高齢者らの有効な移動手段として活用検討が進められています。



今年で3回目となる大東交流センター納涼祭が8月24日、交流センター裏の芝生の広場で開催され、ブルースターズの生演奏等で夏の夜のひと時を楽しみました。



桂米朝一門の桂弥っこ（大東町上久野出身、本名 三島学）大東寄席が8月10日に大東地域交流センターで開催され、およそ90人が上方落語を楽しみました。

Happy



今年も445年目の大東子どもセタ行列がにぎやかに行われました。行列先導露払いの猿田彦役は光自治会の陶山さん親子でした。

令和元年 8月末現在の 人口・世帯数 【（）内は対前々月比】	項目	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
	雲南市	37,906人 (▲80人)	18,296人 (▲35人)	19,610人 (▲45人)	13,750世帯 (▲10世帯)	38.73% (+0.08%)
	大東町	12,104人 (▲47人)	5,905人 (▲21人)	6,199人 (▲26人)	4,172世帯 (▲7世帯)	38.58% (+0.11%)
	大東地区	3,521人 (▲16人)	1,689人 (▲9人)	1,832人 (▲7人)	1,245世帯 (▲2世帯)	—

資料：雲南市HPより

まなびの泉



インターハイに出場して

大東高校女子バドミントン部主将 小山 千穂

今回、大東高校女子バドミントン部は団体戦でインターハイに出場しました。

県総体前、私たちは目標が定まらず悩んだ時期もありましたが、周りの方々のおかげで「インターハイベスト8」という目標をかかげることができ、チームみんなで県総体を優勝で飾り、インターハイの切符をつかみ取りました。

インターハイでは、私たちにとって初めての大会で、これまでに感じたことのない雰囲気や緊張感などを感じました。

一回戦は沖縄県と当たり一勝をあげることができ

ましたが、二回戦の青森県戦は、相手との実力の差が大きく完敗してしまい、自分たちの力の足りなさを感じました。

これから大東高校がインターハイに出場するだけでなく、勝ち進む学校になるように、今回足りなかった部分を練習で身につけ、来年のインターハイでは結果を残せるようにしたいと思います。

大東高校女子バドミントン部の伝統を私たちが引き継ぎ、築いていきたいと思っています。

いつもと違う夏休みの体験でした

第7回かみくの桃源郷サマーキャンプが、7月30日・31日に行われました。今回は、3～6年生47名が参加し充実した時間を過ごしました。二日間とも水分と塩分補給が欠かせない酷暑でしたが、木々の間から吹いてくる気持ちのよい風に癒やされたり、冷たい久野川の水の流れに涼を得たりし、自然の中で過ごす心地よさも感じました。



たり練習したりし、この時のためにアレンジした曲も披露するなど素晴らしいプレゼントをしてくれました。

また、大東高校からも4名がスタッフとして参加してくれました。うち2名は大東小卒業生の石飛城士郎さん、加納竜太さんでした。

小学校最後のサマーキャンプだったけど、カレー作りやテント設営など班のみんなで協力して二日間過ごすことができました。キャンプファイヤーでは、ゲームを通してたくさんの人とふれあえました。生山神社登山では暑すぎて途中で逃げ出したくなくなったくらいでしたが頑張って歩くことができてよかったです。(6年 吉野芽衣)

自分も過去にこのキャンプに参加し、とても楽しかった思い出があります。今回参加した小学生が楽しかったなと思ってくれたらうれしいです。(加納)

これに対して小学生の感想では

高校生のお兄さんと一緒に遊ぶことができよかったです。ぼくが高校生になったら、このサマーキャンプに来たいです。(6年 荒砂理貴)

高校生になったら、ぜひボランティアとして参加したいと思います。(6年 渡部瑠菜)

感想の中で特に楽しかった活動には、自分たちでカレー作りをしたこと、川遊び、キャンプファイヤー、そうめん流し、生山神社登山などのことが多く書かれていました。班で協力して活動できたこと、いつもは話をする事の無い人と仲良くなれたことなどを書いている子どももたくさんありました。

大東中吹奏楽部3年生7名も、キャンプファイヤーを盛り上げるために参加してくれました。桃源郷に向かう車中、何度もシナリオやセリフを確認し

お世話になった多くの人への感謝も忘れない大東小の子どもたちでした。子どもたち同士のヨコのつながりとともに、タテのかかわりも深まっていくことにさらに期待したいと思います。

(記：事務局次長 恩田)



全国からの お便り



北海道に暮らして

苫小牧市 中西 順 (田中上出身)

私は大東中学6期の卒業であります。高校は農林学校に行き、18歳まで大東に居たという事になりましょうか。

高校生の時、当時の田町にあったオリエンタル劇場で「君の名は」の第2部は北海道が舞台でした。揺り鉢の底の様な故郷より広大な北海道で牛飼いをやりたいと思い、一時大阪市役所に勤めていたにも拘らず空知の牧場に実習生として入り、独立資金を貯める為アメリカに丸3年と少し農業労務者として働き、帰国後北見地方の置戸町に土地を求め牛飼いを始めました。勿論知人も親も居ない訳ですし資金にも限りがあり、それこそ無い無い尽くしのスタートでした。そういう訳で貧乏にも念には念を入れました。

故郷とは錦を飾って帰る所らしいのですが、そういう訳で還暦の時やっと何十年振りでもボロを着て帰りました。

親の言うことを聞いて大阪市役所に勤めておれば楽な人生だったかもしれませんが、夢を追いかけたばかりに、汗だか涙だかもわかりませんが流しました。

でもいい時代に生まれ、いい人にめぐり逢い、いい夢を追えて良かったと思います。

人生は運が8割も9割もあるような気がします。



北海道の大地に広がるラベンダー畑

にがおえで
こんにちは!

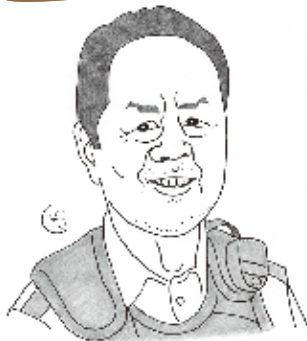
地域の安心・安全を目指して

大東駐在所 基常 政宏

警察官を拝命して36年が経過し、県下各地の駐在所勤務を経て、平成27年の春から大東駐在所勤務となりました。民情と自然豊かで大変住みやすく生活もしやすい良いところに勤務でき、家族共々喜んでいます。

私が着任した5年前に比べると、刑法犯罪も人身交通事故(怪我のある交通事故)の件数も大幅に減少していますが、物件交通事故は依然として年間150件前後発生しています。また、身に覚えのない裁判通知の詐欺の葉書が送られて来たとか、不審な電話がかかってきた等の相談件数が増加するなど、相談も多種多様な内容となっています。

大東地区も高齢化が著しく、人口の約38%が高齢者となっているため、高齢者の保護活動に重点をおいた巡回連絡やボランティア団体の方々と連携した活動を進めています。今後も住民の皆様様に「安全・安心」を実感してもらえるように努力していきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



(絵:大東町東町北 細田 滋)

あいあい募金

ご寄付に
感謝致します

- ・大東町(北町)原 めぐみ 様(香典返し)
- ・大東町(金成)鏑木 誠司 様(香典返し)
- ・大東町(織部)木村 京子 様(香典返し)
- ・大東町(南本町)渡部 敦子 様(香典返し)

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

事務局 TEL.43-2130

郷土の暮らしと文化

野田原(畦)の五輪塔について

大東の歴史をたずねる会 浜田 富次

大東の町筋からよく見える野田原(畦)の頂上付近に古色蒼然とした来待石の大きな五輪塔(高さ158cm)が立っている。これは尼子と毛利の戦国動乱の歴史を語るに無二の五輪塔で、毛利元就の家臣「光永中務少輔の墓」と伝えられている。

今から約480年程前の天文年間初期の頃、毛利が尼子に差し出していた人質は「光永中務少輔」と「赤川十郎左衛門」の二人である。毛利は尼子や大内が群雄割拠し勢力争いが刻々と変化する中、逃げ帰れと人質の二人に密使を送った。両名は夜陰に紛れて富田城を脱出したが、城兵に気づかれ直ちに追手が差し向けられた。二人は必死に逃げたが追手は厳しく、ついに大東の野田原で追いつかれ壮絶な戦いとなった。光永中務少輔は無念にも命を落とし、赤川十郎左衛門は九死に一生を得て毛利の本拠地安芸吉田へ逃げ帰った。これ以来、毛利と尼子の対決は決定的となり、その後の幾度の戦いの末に尼子の勢力は弱体化して滅び、毛利の世に移って行ったのである。

この五輪塔は野田原で落命した光永中務少輔を弔うために建てたものと言われるが、何時、誰が建立

したとの記録は見当たらない。毛利家や光永に縁の深い者が立てたとの想定もされるが、私が思うには、毛利の治世となり、その支配下で元亀4年(1573年)に大東の代官職に任ぜられた毛利の家臣、児玉左衛門就久あたりの権力と財力を兼ね備えた極限られた者の可能性が高いと考えている。

なお、五輪塔は永年の霜露により風化摩耗して刻字は全く分からない。また、この五輪塔は大木原の蘆田道昭氏の墓地内であって、平成12年に同氏が雨風を防ぐ立派な御堂を建てて丁重に祀っておられ現在に至っている。

(参考文献…大原郡誌、大東町誌、大東町の歴史年表、出雲学への軌跡)



野田原の御堂に安置されている五輪塔



五輪塔本体

大東のなつかしい風景や人々の生活を写した写真がありましたらご提供ください。(編集委員会)



深田 滋さん (大木原在住)



定年まで、自動車学校の教官(指導員)として勤務、安全運転を徹底して指導し、今でも時々バスを運転、皆の所望の場所への送迎もしてくれます。安心安全頼れる人深田滋さんを訪ねました。

Q お面を作っておられるそうですが、いつ頃から、また、きっかけは?

数年前の自治会とんど祭り反省会で、「自治会の戸数が多くなって一人で鼻高面を被り一軒一軒回るのは大変だから二人にしよう」という話になり、面を探し求めていました。一昨年、「おろち湯ったり館」に展示してあった紙製の鼻高面に興味を持ち、制作者宅を訪ね同じような面を購入しました。紙製なので軽くて被りやすかったですね。そんなご縁からその方と親しくなり、制作指導を受けるうちに後継役を頼まれ、沢山の石膏の型を頂きました。ほとんど自己流ですが徐々に面作りに取り組むようになりました。

Q 紙のお面作りの魅力は何ですか?

面倒だけど一枚一枚の和紙を重ねて貼るごとに自分の思いも重なります。和紙に気持ちをこめると顔かたちも微妙に変わります。同じ型から作っても出来上がりはそれぞれ違うね。これも魅力のひとつです。

Q 今までどれくらい作られましたか?

20個ほど作ったけど、未完成品が多いね。それでもお多福さんと恵美須・大黒セットの二つの面は、気に入っています。

最初に須佐之命を手掛けたけどまだ完成してないね。色々な紙で作ったけどやっぱり手すきの和紙のモンだね、自分好みの和紙にこだわりがあります。道具も手作りの物も使ってます。

今後の目標は、「自分のイメージどおりにお面を完成させることと、仲間を増やして人が喜ぶ色々なお面を作りたいね。また、とんど太鼓も貴重な伝統文化なので、子どもの頃から興味を持たせ思い出づくりのためにもしっかり継承していきたいね。」と熱く語ります。

大木原公民館に飾ってあるお多福さんは皆の無病息災を祈っています。さて次は、どんなお面に会えるのでしょうかね。・・・楽しみにです。

(記: 地域活動推進員 西村)